

子どもたちに平和な未来を 大軍拡・大增税ストップ!

党加古川市県政対策委員長

吉田くみこ

日本共産党

私は加古川で39年間教員として勤めてきました。そして、組合員として「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと活動してきました。

今、ロシアによるウクライナ侵略を機に軍拡が叫ばれています。武器を持たなければ平和は守れないという状況にとっても危険な時代になっていると感じています。武器で平和はつくれません。回り道のようにも相手を尊重し、対話を続ける努力をしなければ平和を築くことはできないと思っています。

戦争は決して起こしてはならない。戦争は政治の敗北です。平和な社会を、争いのない社会をと願うすべての人と手をつないでいきましょう。

1954年神戸市長田区生まれ/兵庫県立加古川東高等学校、大阪社会事業短期大学卒。加古川市立加古川養護学校、市立各小学校・教諭。2015年3月定年退職。加印教職員組合執行委員など歴任。現在、加印母親連絡会会長、党加古川市県政対策委員長、東播地区准地区委員。
趣味: 読書、映画鑑賞。本の読み聞かせ、手芸
家族: 夫、長男との3人暮らし

岸田自公政権の暴走STOP

平和と暮らしを守る

大軍拡・大增税反対 戦争準備でなく平和を守る政治を

アメリカと一緒に他国の領土を攻撃すると、報復攻撃により日本の国土が焦土と化してしまいます。「専守防衛」に反します。大軍拡のために暮らしと教育の予算を削ることも、暮らしを壊す大增税も反対です。

アジアの地域に平和の枠組みを作り、なんでも話し合いで解決する外交の力で平和を守るのが政治の責任です。

賃上げ、消費税減税で暮らしを守る

物価高騰が暮らしと経済を直撃しています。
働く人の賃金を上げ、最低賃金1,500円を実現します。アベノミクスで大儲けした大企業の内部留保に時限的に課税し、その財源で中小企業の賃上げを支援します。
経済の主役である県民の購買力を上げるため消費税の減税、物価高騰に見合う年金引き上げを求めます。

県民の暮らしを支え、 いのちに寄り添う政治を県政に

いまこそ平和、いのちと暮らしの願いを届けます

子育て・教育

- 給食や教材・修学旅行など教育費を無償化します
- 0歳児からの保育所確保と保育料無償化を図ります
- 教員を増やし少人数学級といじめ根絶を実現します
- 民間委託は許さず学童保育の体制を充実します
- 特別支援学校を拡充し、共に学ぶ環境を実現します
- 高等学校の授業料無償化、大学の入学金廃止と学費の半額化をめざします

福祉・医療

- コロナ感染対策を拡充します
- 国民健康保険・介護保険の掛金や利用料を引き下げます
- 子ども・高齢者の医療費にかかる家計負担を軽減します
- 病院の病床削減・初診制限を止めさせ、地域医療を守ります

ジェンダー平等・LGBTQ

- だれもが自分らしく尊重されるようLGBTQ支援の充実
- 県のパートナーシップ制度・ファミリーシップ制度の創設
- 男女の賃金格差是正へ、女性の正規雇用へ県の奨励金を
- 痴漢ゼロへ警察・鉄道会社の対策強化と性暴力被害者支援

防災・安全・気候危機打開

- 神戸製鋼のばいじん対策を求めます
- 生活に密着した道路・水路などの公共施設整備を進めます
- 住宅の耐震やバリアフリーを進めるため助成を強化します
- 水害や地震の災害で、避難・減災や復興への十分な備えを行います
- 気候変動による防災やエネルギー・食糧の危機回避に力をつくします

生活・しごと

- 消費税を5%に引き下げ、地域経済対策を行います
- 地場産業・地域の商店・中小企業を支援します
- 公契約条例を制定し、地域賃金を良くする流れをつくります
- きめ細やかなバス・タクシーの運行など公共交通を充実します

私たちもともに頑張ります



加古川市議会議員
立花俊治



加古川市議会議員
橋本和彦



元県議会議員
星原幸代